



現在、再整備計画を進めている清水庁舎の検討状況についてお知らせしていくためのニュースレターです。ぜひお手にとってお読みください。

前回に続き階層構成・平面計画について検討したほか、災害に強い建物構造や設備計画などについて議論しました

9月11日(火)に、平成30年度第3回目となる「新清水庁舎建設検討委員会」を開催しました。

報告

◆**前回の議論のまとめ** 第2回検討委員会で出た意見とその対応状況を報告しました。

協議事項

◆【継続】土地利用・配置計画について

・民間事業者への事業参入意欲の聞き取り調査の中間結果によると、庁舎と民間施設を分棟方式とする希望が多くありました。
・ピロティ下などの庁舎の公共空間の活用例について示しました。



図：建物の周囲のデッキのイメージ

◆【継続】平面計画・階層構成について

・新庁舎に配置する庁内組織の考え方を示しました。また、それに伴い適正な庁舎規模を設定していく工程を示しました。

◆【新規】構造・設備計画について

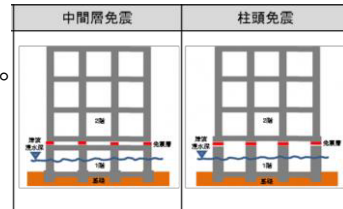
下記3つの機能分類ごとに計画を示しました。

「災害に強い建物構造」⇒免震構造の採用やピロティ形式・杭基礎構造の採用を想定

「災害時の業務継続機能」⇒地震揺れ対策やライフラインの途絶対策の考え方を整理

「ウォーターフロントにおける緊急避難機能」

⇒既存施設との連続性の確保や、どの方角からでも安全に避難できる緊急避難スペースの設置など



図：構造形式の比較

◆【新規】外構・景観計画について

・周辺の緑と一体となった緑のネットワークを形成することや、海上からの見え方と駅からの見え方に配慮した計画について示しました。

◆【新規】管理・運営方法について

・将来を見据えたレイアウトや用途の変更に柔軟に対応でき、最新のICT技術が導入できる環境が整った庁舎の考え方を示しました。

◆【新規】事業手法・財源計画について

・庁舎整備に伴い、残った敷地の利活用について、企業に聴き取り調査を行った途中経過では、商業系・業務系施設の立地可能性については検討中とのことだが、特に宿泊系については、具体的な市場を分析している企業もありました。

委員から出た
主な意見

・庁舎で行うイベントについては、既存の商店街やドリームプラザなどの取組と重複することが考えられるため、調整すべきである。

・庁舎への緊急避難の後はどこに、どのように、いつ安全なところに避難させるのかを想定しておく必要がある。

・駐車場についても同様に、防災の観点でも重要な役割を果たす。避難経路など、総合的に検討することが重要である。

・東口の特徴の一つは、潮の香りを感じることなので、海も意識してほしい。

・将来の人口減少を見据えた庁舎の使い方やICTの技術革新を時系列で示して頂けるとイメージしやすい。

今後の予定について

■ 第4回新清水庁舎建設検討委員会 平成30年10月23日(火) 10:00～ 静岡庁舎新館17階171・172会議室
どなたでも傍聴が可能です。直接会場へお越しください。(全5回予定)

議事録や資料を各区役所に設置するほか、ホームページへも掲載していますのでそちらも併せてご覧ください。

清水庁舎のあり方についてのホームページ http://www.city.shizuoka.jp/153_000026.html

あなたのご意見・ご感想をお寄せください 静岡市企画局アセットマネジメント推進課

